

S-3

当院における救急体制の変遷

福岡赤十字病院 救急科

○友尻^{ともじり} 茂樹^{しげき}、皆川 雄郷、荒武 憲司、藤田 あゆみ、西田 武司、田中 仁

平成14年に救急部が新設されて以来人数により勤務体制を変更していたが、救急科専門医が2名になり、救急科後期研修が増えてからは平日の日勤帯および準夜帯の2交替シフト勤務を行った。平成18年1月より平日は変則3交替シフト勤務で週日24時間体制および土日の日勤帯勤務を開始した。現在年間約5000台の救急車搬入があるが、現在の救急科の勤務体制は救急専従医6名（救急科専門医3名）に加え、初期研修医（1年目ローテート期間2ヶ月・2年目ローテート期間自由）および各科からの後期研修医（ローテート期間3ヶ月）の計10名前後でER、ICU・病棟診療を行っている。また、平成20年の12月からは救急車だけではなく日勤帯でのwalk inの時間外急患もERにて救急科が行っている。入院に関しては各科にトリアージできない分類不能な急患および夜間帯の経過観察入院も救急科で受け持っている。

【変則3交替シフト】ER業務としては主に救急車対応に従事し、日勤帯はER業務に3名、ICUおよび病棟診療に2名の計5名で診療にあたり、夜間は1名の準深勤務に加え準夜帯および深夜帯にそれぞれ1～2名が勤務にあたる形態を取っている。

救急科開設以来、現在の救急体制を構築する過程では様々な問題点があり、時間をかけてそれらの問題を解決してきたが、新病院に向けてまだまだ解決しなければならない問題点も山積している。平成25年に新病院はグランドオープンする予定であるが、今後の展望としては365日24時間でのER体制を確立していく方針である。